

【論文紹介】 オリゴヌクレオチドベースのバイオセンサーで胃がんの早期診断

Oligonucleotide-Based Biosensors in Early Diagnosis of Gastric Cancer



The utilized nanostructures

胃がん診断のためのオリゴヌクレオチドベースのバイオセンサーについてのレビューをご紹介します。

▶ Can Nano Yield Big Insights? Oligonucleotide-Based Biosensors in Early Diagnosis of Gastric Cancer
ナノは大きな成果をもたらすか？胃がんの早期診断におけるオリゴヌクレオチドベースのバイオセンサー

胃がん (GC) の診断は治療法選択に大きく関わり、それにより生存率にも影響を及ぼすと言われています。入手しやすいサンプルでのポイント・オブ・ケアのための小型化、診断精度が高く低コストという条件を満たす診断法の導入が望まれているとしており、ここでは GC 診断のためのオリゴヌクレオチドベースのバイオセンサーについて、技術の概要とその限界についてレビューしています。バイオセンサーは、従来の診断方法と比較して特異性や感度が高いことが特長です。筆者らは、GC 診断に革命をもたらし、早期介入を促進するのに理想的な診断法であると主張しています。

Avanu, Alexandra E., Alexandra M. Ciubotariu, and Gianina Dodi. "Can Nano Yield Big Insights? Oligonucleotide-Based Biosensors in Early Diagnosis of Gastric Cancer." *Chemosensors* 12.3 (2024): 44.

そのオリゴ合成、承ります！

文献のアプリケーションには、日本遺伝子研究所のオリゴヌクレオチドをお勧めします！

ナノセンサー構築のための様々な修飾オリゴヌクレオチド合成を承ります。

また、下記リンク先に記載されていない修飾についても可能な場合がございますので、是非一度ご相談ください。

修飾一覧

⇒[詳細はこちら](#)